

## 「京の七夕2022」事業 広報宣伝業務に係る仕様書

### 1 対象事業

「京の七夕2022」広報宣伝事業に係る業務

### 2 基本事項

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、本事業に関わるすべての方々の「安心・安全」を意識し、以下に掲げる業務を遂行すること。

「京の七夕2022」事業について

#### (1) 広報・宣伝活動

- ・ポスター、ガイドマップなど宣伝ツールの企画・作成及び送付  
(※内訳別紙参照)
- ・関西圏以外へのPR手法（新聞・雑誌・ラジオ・テレビ等による告知）
- ・寺院神社、商店街、京都府域における協賛事業等での「京の七夕」PRの調整
- ・京の七夕公式HP・SNSでの広報

#### (2) 「願いごと」を京都に

- ・全国から「願いごと」を集めるための仕組みと願いごとキャンペーン事務局の運営

#### (3) 京の七夕公式サイトのリニューアルと掲載情報収集

- ・公式サイトには、トップページ、願いごと応募ページ、願いごと短冊掲載ページ、七夕に関連したイベント・土産物・伝統産業品等の紹介ページ、和装特典情報ページを含める
- ・七夕に関連した京都府内のイベント、土産物、伝統産業品等の紹介ページは、京の七夕実行委員会事務局で情報の更新ができる機能を追加すること
- ・リニューアルサイトにはPV数をカウントできるようタグを埋める
- ・7～8月に京都府下で開催される七夕事業や七夕関連商品情報等の収集を行う

#### (4) 事業の実施状況記録、報告書の作成、メール送付

#### (5) 次年度に向けた広報用画像集（事業内容を収録したフォトCD-ROMの作成含む）の制作・収集

#### (6) 事務局会議等への出席及び会議内容等の事業計画書への反映（会議は必要に応じて開催）

#### (7) 他会場との広報連携の調整及び調整会議の出席（会議は必要に応じて開催）

### 3 企画書に盛り込む内容

提案内容については、ウィズコロナ時代に適応した企画や具体的な感染症対策等を盛り込むことにより、実施事業が新型コロナウイルス感染症拡大の影響に極力左右されないよう考慮すること。

- (1) 国内での知名度を向上させ、「願い」の収集促進につなげるための広報・宣伝の在り方に関する基本的な考え方、及び具体的な手法
- (2) 七夕本来のコンセプト「願い」を打ち出した具体的な広報・企画の提案
- (3) 全国から「願いごと」を集めるための仕組みの提案
- (4) 本事業への企業からの協賛内容、金額、相手先の提示（3社以上）
- (5) 広報・宣伝ツール等の種類、内容、発行等の時期、配布先等活用方法（別紙記載の所定枚数については必須）
- (6) Facebook、Twitter、Instagramの広報製作・運営
- (7) 当業務を遂行するための体制
- (8) 経費（内訳も必要。消費税及び地方消費税相当額込み。）
- (9) その他

独自のネットワークやノウハウを活用した実施可能な広報宣伝方法や事業企画を追加経費の要否（要の場合はその額）も含めて提案すること（追加経費を含む総計は予定上限額を超えても可）

なお、(1)～(7)に示した内容の一部を(9)で提案することは不可。(1)～(7)については、経費内に収まるように提案すること。

### 4 業務委託費

協賛金額を差し引いた委託金額を提案すること。但し上限は金12,000,000円（消費税及び地方消費税相当額含む。）とする。

京の七夕印刷物関係

製作物	数量
ガイドマップ（８ページ）	30,000
チラシ	100,000
B2ポスター	1,000
短冊	50,000
願いギャラリー用短冊	60
B1JR東海用	100
B1JR西日本用 2種	300 1,100
B1その他用	100
B3JR西日本用	5,200
B3三都市交通局連携用	1,500
B3片面市バス・地下鉄用	1,400